

令和4年度3x3日本選手権熊本大会

新型コロナウイルス感染症及び熱中症対策

1. 大会運営における対策

- 会場における感染症対策及び熱中症対策責任者の設置※会場責任者が兼務してもよい
- 大会中は、会場内の人数制限をする。※選手4名まで、チームスタッフ2名まで
- 受付の設置
 - ・検温、健康チェック表回収、手指消毒
- 選手及びチームスタッフの待機場所の設置
 - ・3密を避け、風通しがよい場所
- 感染症対策及び熱中症対策を最大限講じたコート設営
 - ・ベンチ及び TO 席等の感染症対策及び熱中症対策を講じて設営する。
 - ・窓を全開にしたり、扇風機を設置したりして換気をよくする。
 - ・大型扇風機の設置。
- 試合及び試合間の取組み
 - ・1 試合 10 分の試合時間で行う。
 - ・試合中の大声での声援及び指示等の禁止。
 - ・試合後の各ベンチへの挨拶及び選手同士の握手の禁止。
 - ・試合終了後、ベンチの消毒。
- トイレ及び更衣室の対応
 - ・ハンドソープ、消毒液を設置する。
 - ・更衣室では密にならないようにする。
- マスクの着用
 - ・選手、チームスタッフ、大会役員はマスク着用 ※試合直後やタイムアウトの場合に熱中症対策としてマスクを外しても良い。しかし、マスクを外した場合は、声を発しない。(飛沫が飛ばないようにする)
- 審判は、ホイッスルカバーを着用する。

2, 各チームにおける対策

- 日頃の健康管理
- 入口での検温
- 健康チェックシートの提出(2週間)
- 館内でのマスク着用
- 再入場の際も検温を行う
- 大声での声援を控える
- 館内及び待機場所でのソーシャル・ディスタンスの確保
- こまめに水分補給を行う
- 水分補給は個人のボトルのみで行う
- 試合終了後は、会場責任者がベンチの消毒を行う
- 昼食等の飲食等を行う際には、飛沫が飛ばないように配慮する
- 天候がよければ飲食等は、屋外の日陰で涼しい場所で行う
- ウォーミングアップの際の声出しを控える
- チームでの円陣を組んだ声出しを控える